



【主な内容】

- /// ふるさとの環境自慢 ///
- 冬の「越前海岸」
- /// この人 ///
- 「漂着物の調査」 青木捨夫さん
- /// 特集 ///
- 資源としての水を考える

表紙写真/「奥越の山々」
(撮影/石川一意)

●ふるさとの環境自慢 冬の「越前海岸」



冷たい風が吹く海岸沿いの国道305号を福井市側から南下していくと、右手下には荒波のおどる海岸が、左上上の山の斜面には一面のすいせん畑が広がり、私たちを見守ってくれる。「すいせん」は、福井県の県花にも指定され、姿の美しい、また淡い香りの福井を代表する植物である。「すいせん」のイメージを尋ねると「冬の日本海の荒波にたえてひっそりと咲いている可憐な花」、「清楚な女の子」と、控えめながらも美しい花というものでした。福井人の人柄そのもののような気がする。

越前海岸は、11月前半のカニの解禁とともに、1年で最も活気づく。

3月にかけてのカニ漁の期間中は、越廼村や越前町の水産加工場では、水揚げされたばかりのカニを茹で揚げる作業を行っており、この匂いは、冬の名物ともなっている。

一方、越前海岸は、越前加賀海岸国定公園内に位置し、永平寺と並ぶ福井県を代表する観光地でもあり、夏には、多くの海水浴客でにぎわいを見せる。また、日が暮れると、海に浮かぶイカ釣り漁船の漁火が、私たちを幻想的な気持ちにさせてくれる。

道路沿いを走ると、海岸のあちこちに、日本海の荒波と風の侵食作用によって作られた岩石の彫刻が見られる。特に有名なのは、天然のトンネル”呼鳥門”。今にも崩れそうなこのトンネルは、越前海岸のシンボルともなっている。落石防止のため、数年前にはトンネルの内側にシェルターが設置されたが、自然の美しさと雄大さを感じさせてくれる風景だ。

また、越前町厨(くりや)の海岸沿いには、海を一望できる公営の露天風呂、越前温泉「漁火」がある。海水浴やキャンプ帰りの行楽客で人気の温泉で、疲労回復や神経痛・筋肉痛に効果があるとのこと。みなさんも、日本海に浮かぶ漁火を眺めながら露天風呂で、日ごろの疲れを癒してみてもはいかがでしょうか。



★ふるさとの環境自慢★

皆さんの自慢の故郷で、当情報紙の1ページを飾りませんか。1000字程度の原稿に地図・写真を添付して応募してください。なお、採用された方には記念品を送らせていただきます。

●この人 「漂着物の調査」

元越廼中学校校長 青木捨夫さん

経歴

大正14年生まれ。越廼村出身。中学校の理科教員等を勤め、昭和60年に越廼中学校校長を退職。昭和63年から越廼海岸を中心に漂着物調査の研究報告書を作成。現在は越廼村や福井市大丹生町の神社8社の宮司。

Q. 海岸への漂着物の研究を始めたきっかけは何ですか。

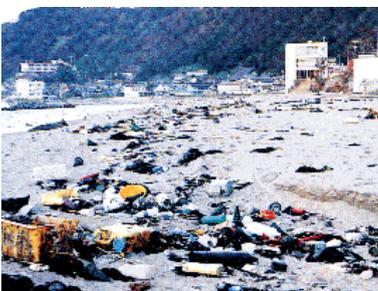
昭和40年代まで、村人は冬になると、よく浜回りをしました。朝早く浜を歩き、焚き木に使う流木、まだ使える家庭用品、打ち上げられた魚介類などを拾うというものです。

昭和63年冬のその日も、私は浜回りをしていたのですが、かなりの量のプラスチック製品が流れついていることに気がつきました。しかも、ほとんどがハンゲル文字のある製品でした。それで、海外からの漂着物に興味を持ち、調べてみようと思ったのです。

Q. 漂着物が多いのはどんなときですか。

海が時化、強い「たば風」(越廼の方言で、冬場の強い北西風のこと)の吹く日に漂着物が多いようです。

それで、漂着物調査も最初は冬だけ行っていたのですが、四季によって漂着物がどう異なるかにも興味を持ち、季節ごとの調査も始めました。



漂着物が散乱する越廼の海岸(平成11年1月)

Q. どういうものが打ち上げられてきますか。

かつては、シベリアで木工品を加工する際に出た白樺の皮が非常に多く流れつきました。これはよく燃えるので、昔は焚き火を付けるのに使われました。しかし、今ではほとんど流れつきません。

代わって、朝鮮半島からのプラスチック製のゴミが、大半を占めています。ある日の調査では、漂着物の実に七十五パーセントにハンゲルが書かれていました。漁網、ロープ、ブイを始め各種の浮きや穴籠等の漁具、発泡スチロール屑、洗剤や化粧品等の容器などが多く見られます。中には、袋に入った粉末ジュース、子供のゴム毬、焼酎の瓶、ズック靴、100円ライター、また、冷蔵庫やテレビもよく流れつき、時には自動車用のプロパンガスボンベなどが流れつてくることもあります。

Q. 最近話題のレジンペレットもよく流れつきますか。

非常に多く見られます。先日の調査では、多い場所で50センチ4方の中に400粒以上もありました。

県内の海岸線をいくつか調べてみたところ、見つかる個数にバラツキがあったので、出所は国内だと思います。

が、誰が出しているのか特定できません。
また、海鳥がレジンペレットを餌と間違えて食べてしまうといわれていますが、今のところ、越前海岸で私が見た海鳥の糞からはレジンペレットは見つかっていません。この辺は、魚の屑など、海鳥の餌となるものが多いため、レジンペレットを口にする必要がないのかなと思います。

Q. 拾ってきたものはどうしていますか。

使えるものは自分で使っています。

例えば、プラスチックの樽は庭にまく雨水を溜めるのに、また、穴籠は蛸を採るのに利用できないかと考えています。

Q. 漂着物から分かることがありますか。

漂着物を観察していると、対岸の国の生活や技術などが見えてきます。

例えば、白樺の材木に打たれた釘は、日本ではまず使われることのないような粗悪品で、ロシアと日本の技術の差を感じます。

一方、ハンゲル文字のプラスチック製品はよくできており、韓国などでは急速に工業技術や経済発展が進んでいるのだなということも実感させられます。同時に、先年、大連や北京で交流した人々の建設的な国家意識と誇りに生き生きしている姿と、最近の日本人の姿が対比され、近い将来、日本は対岸の国々に追い抜かれるのではととても心配です。

しかし、これらの大量のハンゲル文字のゴミを目の前にすると、向こうでは誰でも海や川にゴミを投げているのではないかと恐れられます。ゴミを集めてきちんと処理するという文化があまり浸透していないのでしょうか。日本も、以前は同じような状態でした。

この浜に代表される現状を多くの人に知ってもらい、少なくとも日本人の、また広くは日本海を取り巻く沿岸国の良心が動いてくれればと思います。

特集 資源としての水を考える

水はだれのもの？
私のもの？
私たちのもの？
それとも.....

◆水と人々との関わり

水源涵養保安林面積と水田面積

	福井県 (県民一人当たり)	全国 (国民一人当たり)
水源涵養保安林	12.3万ha (1,490㎡)	624万ha (495㎡)
水田	4.02万ha (486㎡)	272万ha (216㎡)

(平成9年3月31日現在)

四大文明の発祥地の一つ黄河流域では、しばしば氾濫する黄河を竜にたとえ恐れた。日本の八又の大蛇伝説も、千々に乱れる激流斐伊川(島根県)の手に負えない様子を表したものとす説もある。かつての人々にとって、水は天の恵みであり、水神伝説なども天への雨乞いと感謝の意味があった。また、人々と水との関わりを考えると、農林業の果たす役割を忘れてはならない。森林は木材の供給、水田は食料の供給という機能を果たすとともに、洪水の防止、水資源の涵養(かんよう)や景観など、お金を換算したり商品化することが困難な多くの価値を脈々と生み出してきた。

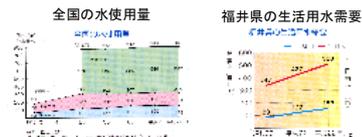
◆水需要の増大

水の需要は、生活用、工業用、農業用に分類される。これらを合計すると国内の水使用量は年間約900億立方メートル(平成7年)。これは、琵琶湖の3.3杯分にもなる。

また、県内の水需要は約22億7千立方メートル。これはサンドームふくい(容積の8440倍)にもなり、生活用水だけで見ても450倍に相当する。

30年前と比べると、水需用の伸びは大きく、とりわけ生活用水は、トイレの水洗化やシャワーの普及などにより2.7倍にもなっている。

また、平成10年5月に県が発表した「福井県水資源総合計画」によると、生活用水の需要は、この15年で36パーセント増え、今後も増えると見られている。



◆水道水源の変化

本紙15号で特集したように、飲み水に最も適しているのは地下水である。

本県の水道水は、地下水が占める割合が73パーセントと非常に高い。しかし、地盤沈下などを考慮すると、その取水量には限度があり、年々、水道水源としては河川水などの表流水の取水量が増え、地下水の割合は減少しつつある。

表流水は、よほどの上流部の河川でない限り、飲料水源としては地下水よりも水質が劣ることは避けられず、また天候にも影響されやすい。

◆水と水利権

水利用に占める地下水の割合(平成7年度) 海に漁業権があるように、多くの表流水には水利権が設定されていて、水道用、発電用や農業用にどれだけ取水できるのかが決められている。

また、水利権には、河川法などの法律制定以前からの既得権としての慣行的な権利があり、とくに農業用水の利用はこの慣行水利権によるものが多い。

一方、地下水には水利権という考え方はなく、土地所有者の私的所有物とされている。このように個人が所有する水を「私水」という。

反対に、表流水は水利権があったとしても、基本的には共有財産である。このように、公で管理される水を「公水」といい、河川や海、湖沼を「公共用水域」という。しかし、一部の国では、地下水を公水と定めているところもあるという。

わが国では、水利権のある表流水や私水としての地下水には、複雑な既得権が絡み合っており、現状では水資源の配分を一元的に管理することは不可能であり、ここに水資源対策の最大の難しさがある。

こうした事情を背景として、昨年あたりから、国レベルでは建設省を中心とした関係省庁が、総合的な水資源政策の体制づくりのための「水基本法」(仮称)の制定に向けて検討作業を開始した。この中では、地下水を公共のものとし、効率的な利用を確保しようとの考え方が有力であり、今後の成り行きが注目され、また期待される。

◆水の役割と循環

この「水基本法」の根本には、「健全な水循環の確保」という理念があり、これは、従来の利水・治水の視点に限定した考え方からの大きな転換であると言える。

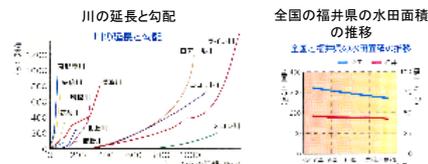
自然の水は、降雨、浸透・表流、蒸散を繰り返して循環している。水の循環は、大気浄化、気候の緩和、地盤の支持、森林の育成など、様々な「恩恵」をもたらす。「健全な水循環」が維持されることにより、これらの恩恵が損なわなければ、我々は永遠に水を使い続けることができる。

これまで、森林と水田の存在は「健全な水循環」に寄与してきた。いや、日本人は、地形などを利用し、水循環をより健全なものとし、その恩恵を最大限に引き出してきたと言わなければならない。

明治初期、オランダの河川技師デレーケに、「これは川ではない。滝だ！」と言わせた常願寺川(富山県)に代表されるように、日本の川は非常に急峻で、降った雨はすみやかに海へ流れ出る。このような川を利用し、食料生産のために十分な水を採るとともに、洪水を防止するため、我々の祖先は知恵を絞った。まず、山に木を植え、土の保水能力を高めた。また、横向きの川(用水路)を作り、大きな水がめ(ため池・水田)を作った。こうすることにより、降った雨が大地のすみずみまでしみ込みながらゆっくりと行きわたるようになった。

ところが、明治以降の産業社会の進展、人口の増加、生活様式の変化は、国土の高度利用を促し、結果として、「健全な水循環」が脅かされることになった。

多くの天然林が姿を消し、また水田は宅地化などを目的とした農地転用により毎年減少傾向にある。また、下流の都市部の治水対策として、高く直線的な堤防やコンクリートの利用が目立つようになってきた。その結果、河川水は海洋への流出を早め、地下への浸透は減少することになった。すなわち、降雨か



◆水資源はどうなる

膨張し続ける水需用。

誰もが、水は必要なときに必要なだけ使えて当たり前と思っている。

しかし、水は無限ではない。

平成9年6月、河川法が改正され、利水・治水と並び、環境の調和のとれた総合的な河川管理をその目的とすることになった。この画期的な法改正が、今後、各地域で目に見える成果を上げることが期待される。

しかし、このような環境保全の観点からの水循環の維持への試みは緒に着いたばかりである。

水問題、それは、環境問題そのものなのであり、水を使う者として、1人ひとりが節水に心がけることはもちろんのこと、私たちのみならず、生きものすべてが水循環と深く関わっていることを常に念頭において、水と接していきたいものである。

豊かな自然を保全し、創出することをめざした川づくり



整備後
当初人工的な水路だったが、水域と陸域の連続性を確保し、親水性の高い河川に生まれ変わった。

整備前

参考文献

「よみがえれ 水辺・里山・田園」千賀裕太郎(岩波ブックレット)
「環境保全上健全な水資源に関する基本的認識及び試作の展開について(中間まとめ)」要約
環境庁水質保全局水質管理課「福井県水資源総合計画」
福井県県民生活部生活企画課「日本の水」 (財)水資源協会

読者の窓



「カントリー大作戦」(福井市 宮藤崇さん)

- 食品添加物の中には、非常に恐ろしいものが多数あり、私たちがそれらを他種類の食品の中から摂取して蓄積すれば年間四キログラムほどにもなると聞いたことがあります。添加物表示を見る時の指針となるように、県民の皆様にご教示(これらの情報紙などにより)いただきたいものです。(朝日町主婦…女)
- 最近、私たちを取り巻く食料関係だけでも遺伝子組換え食品、農業による食品公害、ダイオキシンが含まれる土壌で栽培した野菜、環境ホルモンを含む食品、有害食品添加物、さらに、今回の十六号で記載されたポストハーベスト農薬など、数多くのものが知られている。人体大きな影響を及ぼすこれらの物質により、私たちの子孫はどうなるのでしょうか。今の世は、いろんな物質について科学的に研究され、安全性に裏打ちされたものが少なく、科学的な安全性が後追いつくような事例が多くなっている。時代を背負う子孫のことを思うと心配である。(大野市 無職…男)
- 初めてこの冊子を見ました。昔は買い物に行くときにはカゴを持参し、豆腐を買うときは鍋を持ち出かけたもので、今の生活に慣れてしまった私達一人ひとりが反省していかなければと思います。(福井市看護婦…女)

- 名古屋に住んでいる叔父から数年前にいわれたこと。「今に売っている野菜も食べられなくなる。畑があるなら有機栽培や無農薬栽培で、人に喜んでもらえる野菜づくりをしないとだめやぞ。」…と。本気に野菜づくりに燃えようかなと思う今日この頃。(福井市アルバイト…女)
- 輸出用のエビを養殖することが環境破壊につながっているなんてびっくりしました。(エビは大好きなんです) (鹿兒島県アルバイト…女)
- 人が生きていくうえで大切なのが水と食、人間に害のない食べ物、いかに環境が大切かということ、食品添加物や無農薬のことなど、これからもっと真剣に考えるべきだと思います。見た目がおいしそうなのは絶対に体によくないはず。(三国町事務員…女)
- 親子エコクッキング教室の記事を読み、ちょっとした心がけ、アイデアで、材料の端材等もむだにせず、こんなにすてきな料理ができるなんて…。1枚のさらに全部盛り、油污れは紙でふいて水洗いと、身近に、美しい環境づくりに私でも協力できることがあったのです。とても参考になりました。(三国町公務員…女)
- 武生市千合谷町の解雷ヶ清水は夏の暑いときなど本当に冷たい水が湧いているので利用させていただいています。(武生市公務員…女)
- 生活環境がよくなればなるほど自然環境が壊れていく忙しさをいつも感じております。(勝山市農業…女)



「ゴミの不法投棄」(三国町 吉川悦郎)

当情報紙では、皆さんからの投稿をお待ちしています。

- 私たちの提言 ちょっとした工夫で誰にでもできる環境保全活動や、グループの活動内容・メンバー募集などを四百字以内で、できれば写真も添付して紹介してください。
- イラスト募集 環境保全を訴えるイラストを募集します。ハガキ程度の大きさに、できれば簡単な説明を加えてください。なお、採用された方には記念品を送らせていただきます。

環境フォトコンテスト入賞作品決定

昨年夏に募集しました本年度の「環境フォトコンテスト」に、県内各地から151点(69人)の御応募をいただきました。ありがとうございました。昨年の11月10日(火)に開かれた審査会で、みごと前川 豊さん(敦賀市)の作品「コスモスと私たち」(第20号表紙)が最優秀賞に輝きました。入賞写真の貸出を行いますので、御希望の方は事務局(県環境政策課)まで御連絡ください。

最優秀賞	「コスモスと私たち」	前川 豊
優秀賞	「初秋の豊り」	青木 誠
	「お寺の前に廃車があるよ」	玉村 時雄
入選	佐々木英樹 清水多一郎	富田 秀人 林 芳雄
	藤田 愛子 南 昌	森下 利子 森下 陸雄
佳作	伊藤 邦夫 大南 彩子	織田 武志 笠原 利一
	勝見 勝良 河村 久男	岸本 恵 北村 昭雄
	小林 則雄 近藤 靖隆	山東 清治 鈴木 不二子

スペースの都合で入選・佳作については受賞者名のみ紹介します。
受賞者の皆さん、おめでとうございます。



(審査委員長水谷内健次氏の講評) 応募作品が昨年より大幅に増えたのに伴い、環境保全の大切さを再認識させるというコンテストの趣旨を理解した作品も増えている。

最優秀賞に輝いた作品は、とても明るい作品で、どこまでもぬけるような青空の下に広がるコスモス畑の中を楽しそうに親子が歩いている様子は見ていてとても気持ちがよく、自然とのふれあいの大切さを再認識させてくれる大変優れた作品である。

また、その他の入賞作品も、自然との共生の様子や自然の雄大さ、環境保全活動に励む人の様子、環境汚染をユニークに訴えた作品など、見る人を引きつけ、環境の大切さを強く訴える優秀な作品である。

「環境ふくいフォトコンテスト」インターネットアドレス

<http://www.erc.pref.fukui.jp/eco/photo2/>

■編集後記

◇暦のうえでは春になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。寒さが苦手なので春を待ちわびています。(N)

◇先日のダイオキシン汚染野菜の報道でおきた騒動を見て、情報紙を編集する者として、改めて伝えることの難しさとその責任を実感しました。(H)